



園児らの活動を見学する中国の視察団
＝4日、坂井市の認定こども園「三国ひ
かり」

幼児教育理念学ぶ

坂井のこども園中国から視察

日本の先進的な幼児教育を学ぼうと、中国の教育視察団が4日、坂井市と、福山市立大で児童教育の認定こども園「三国ひかり」を訪れた。園児の活動風景や園舎の設備を見学し、中国での教育への生かし方を模索して

今回の視察が実現した。視察には、中国各地から保育園の経営者や建築デザイナーら16人が参加。総ひのき造りで天井を高め、設計した園舎や、園児が毎朝行う「リズム運動」を見学した。リズム運動では、園児らが活発に倒立や馬跳びをする姿に興味津々。熱心に動画や写真に収めるなどしていた。

中国で幼児園の設計を専門に行う王剣(きん)さん(42)は「建物全体を通して子どもの発達を促す設計。設計する側と園側で教育理念の共有ができて、それが中国との大きな違い」と感心していた。

広東省の幼児園で園長を務める胡燕(ひ)さん(47)は「リズム運動からは子どもたちの生命力を感じた。ぜひ、自分の園でも取り入れたい」と話していた。(黒田美紗)